



2026年5月29日

各位

会社名 株式会社市進ホールディングス
代表者 代表取締役社長 荻原 俊平
(コード番号 4645 東証スタンダード市場)
問合せ先 常務取締役統括本部本部長 尾和 保弘
電話 047 (335) 2840

支配株主等に関する事項について

1. 親会社、支配株主（親会社を除く）又はその他の関係会社の商号等（2026年2月28日現在）

名称	属性	議決権所有割合（％）			親会社等が発行する株券が 上場されている金融商品取引所等
		直接 所有分	合算 対象分	計	
株式会社 学研ホールディングス	親会社	49.68	0	49.68	株式会社東京証券取引所 プライム市場

2. 親会社等のうち、当社に与える影響が最も大きいと認められる会社の商号及びその理由

当社に与える影響が最も大きいと認められる会社は、株式会社学研ホールディングスであり、当社の議決権の49.68%を所有する当社の親会社であります。

3. 親会社等の企業グループにおける当社の位置付けその他の当社と親会社等との関係

株式会社学研ホールディングスは当社の議決権を49.68%所有しており、当社の親会社となります。当社は、かねてよりの超少子高齢化や人材確保難、教育ICT化等への対応克服が喫緊の課題となっております。これらの課題解決には、市場特性に合わせたサービスの充実、指導法・教材・カリキュラムの共同開発・共同利用によるコストダウン、人材確保、バックヤード維持コストの抑制といった抜本的な経営効率化への取組が必要です。これらについて、学研グループと共同実施し、学研グループの経営資源を活用することで、当社の持続的成長につながると考えております。

当社は、親会社の企業グループと緊密な協力関係を保ちながら事業展開する方針ではありますが、親会社からの事業上の制約はなく、独自に事業活動を行っており、親会社からの一定の独立性が確保されていると考えております。

4. 支配株主等との取引に関する事項

当社は、当社と親会社である株式会社学研ホールディングスを含む学研グループとの取引について、一般の取引条件及び市場価格等を勘案した公正・妥当な条件とすることを基本方針としております。

また、当社と株式会社学研ホールディングスを含む学研グループとの取引について、独立性確保の観点も踏まえ、重要な取引については、取引条件及びその決定方法の妥当性は独立役員を含む取締役会において十分に審議したうえで意思決定を行っています。

また、当社は、当該取引について、その性質や重要性等を鑑み、特別利害関係人に該当するか否かの基準を定め、対象となった者は、当該決議に参加することができないものとしています。

加えて、親会社である株式会社学研ホールディングスと少数株主との利益が相反する重要な取引・行為については、意思決定の前に独立役員が取締役の職務執行を監督することで、少数株主と利益相反がないよう取締役会の自主性・独立性を確保しております。

以上により、株式会社学研ホールディングスを含む学研グループとの取引の際における少数株主の保護及び適正性を確保してまいります。

(役員の兼務状況)

役職	氏名	親会社等又はそのグループ企業での役職
代表取締役会長	下屋 俊裕	株式会社学研教育ホールディングス代表取締役会長
取締役副会長	福住 一彦	株式会社学研ホールディングス会長
代表取締役社長	荻原 俊平	株式会社学研ホールディングス常務執行役員 株式会社学研教育ホールディングス取締役 株式会社文理代表取締役会長CEO
取締役相談役	土坂 恭司	株式会社 TOKYO GLOBAL GATEWAY 代表取締役社長
取締役	小野 有紀子	株式会社学研教育ホールディングス取締役

以上